

令和3年度 一本松中学校学校評価(学年末)

愛南町重点目標

評価規準 A：目標を達成 B：6割以上肯定 C：4割以上肯定 D：4割未満 サンプル数 教職員(8人) 生徒(48人) 保護者(39人) 地域住民(29人)

重点目標	評価指標及び目標値(期待される姿)	評価	学校による考察(◇)及び改善方策(◆)	評価資料	アンケート結果(%)			
					4	3	2	1
2 生徒指導の徹底と健全育成	(1) 安心して過ごせる学校づくり	前期評価	◇様々な制限がある中で、楽しく学校生活を送っている様子がうかがえる。 ◆わずかではあるものの、否定的な回答を取り残さず、個別の困り感や悩みの把握に努める。	教職員アンケート	44	56	0	0
		学年末評価	◇ほとんどが肯定的であるが、若干名の生徒・保護者が否定的に感じている。 ◆今後は、日常生活の些細な声にも耳を傾け、生徒や保護者の否定的意見を、肯定的になるように改善を図る。	生徒アンケート	63	35	2	0
	(2) 積極的な生徒指導の推進	前期評価	◇教職員・生徒・の8割以上が肯定的な回答をしている。生徒と教職員の信頼関係がしっかりとできてきた感じる。 ◆今後は、保護者の否定的意見を真摯に受け止め、肯定的になるように改善を図る。	教職員アンケート	78	22	0	0
		学年末評価	◇教職員・生徒・の9割以上が肯定的な回答をしている。前期よりも、更に生徒と教職員との信頼関係がしっかりとできてきた感じる。 ◆今後は、生徒の否定的意見を真摯に受け止め、肯定的になるように改善を図る。	生徒アンケート	54	46	0	0
	(3) 情報共有と組織的対応の推進	前期評価	◇全教職員が、様々な場面や機会をとらえて、生徒の情報を素早く共有し、対応するように努めている。 ◆今後もこの取組を大切にしたい。	教職員アンケート	56	44	0	0
		学年末評価	◇前期と同様に、全教職員が、様々な場面や機会をとらえて、生徒の情報を素早く共有し、対応するように努めてきた成果が表れている。 ◆今後も組織的に対応できるように、現在の取組を大切にしたい。	教職員アンケート	25	75	0	0
	(4) 情報モラルに関する学習の充実	前期評価	◇これまでの各教科や生活指導、PTA研修会における取組の評価が表れている。 ◆今後も生徒が犯罪やトラブルに遭わないように、情報モラルやマナーの学習を通して、意識の高揚を図る必要がある。	教職員アンケート	78	22	0	0
		学年末評価	◇A評価ではあるものの、教職員や保護者の否定的な回答が微増している。 ◆情報モラルやマナーの学習を着実に実践し、SNS等のトラブルの防止や意識の高揚を図る必要がある。	生徒アンケート	57	39	4	0
	(5) 基本的な生活習慣の定着	前期評価	◇保護者評価が8割未満であることからB評価とした。保健調査や聞き取りから、長時間のメディア利用者が多数いることが分かっており、生活習慣の乱れの要因となっている。 ◆保健委員会の活動の充実や保護者との相談体制を整え、家庭と連携して改善を図る。	保護者アンケート	21	74	2	2
		学年末評価	◇生徒は8割以上が肯定的な回答である。しかし、保健調査(11月実施)では、早寝・早起きにおいて8割肯定に至らなかったこと、保護者評価が8割未満であることからB評価である。 ◆調査結果を保護者へ通知し、家庭と連携して基本的な生活習慣の確立を目指していきたい。	生徒アンケート	41	41	11	7
	(6) 個別の支援や教育相談の充実	前期評価	◇学級担任を中心に、各学年部、各校務分掌間での協力体制がもたらした結果だと考える。 ◆否定的な意見を見逃してはならない。誰一人取り残すことのない教育を目指し、さらにアンテナを張って情報の風通しをよくすることで、生徒理解や支援につなげていく必要がある。	保護者アンケート	23	49	16	12
		学年末評価	◇学年部を中心とした日々の見取りや情報共有、組織的な協力体制が機能していることが高評価の要因である。 ◆保護者には否定的な意見もあるため、さらに生徒理解に努めていく必要がある。	生徒アンケート	48	33	17	2
学校運営協議会の所見	前期評価	○ほとんどの生徒が楽しく過ごし、悩みに対しても、全教職員が様々な場面や機会をとらえて生徒の情報を素早く共有・対応できていることがうかがえる。 ●具体的な問題・不満を抱えている家庭があるのではないかと。先生方には丁寧に対応してほしい。 ●「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣は、生涯元気でいるためにも重要であることを理解させてほしい。この問題を生徒自身に投げ掛けて、どのようにすれば改善できると思うか討論させてみてはどうだろうか。	学校の対応	前期評価	・今後も生徒の悩みやトラブルに対して、情報共有を基に早期対応・早期解決を目指す。 ・生徒・保護者に引き続き丁寧に対応し、理解を得るよう努める。生活習慣は、生徒が主体的に改善できるような手立てを検討する。			
	学年末評価	○生徒と教職員の信頼関係がさらに高まってきた。日頃から、生徒の情報を素早く共有して、組織的な協力体制がとられた成果である。 ●生徒への対応は、業務負担を軽減しながら、先生方に取り組んでいただきたい。 ●アンケートでの生徒の否定的な意見等にこそ、しっかりと慎重に対応していただきたい。 ●多忙ではあるが、先生方には、生徒一人一人にじっくり寄り添って、悩みや不安に対応していただきたいと願う。		学年末評価	・生徒に対し組織的な対応を継続し、教職員と生徒・保護者との信頼関係を更に深める。 ・生徒が主体的に生活改善ができるよう、話し合いや集会等を通して意識の高揚と実践力を高める。			